授業科目	教職実践演習（養護教諭）					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	4	開講時期	後期
担当教員	西丸　月美、杉谷　修一、増本　由紀子、木村　政伸、一期﨑　直美、浜谷　小百合、塚本　美紀、西原　真弓						
授業概要	この授業は、これまでの教職課程での学習及び養護実習を振り返りながら、養護教諭としての使命感、保護者や地域への責任、信頼される学校づくり等の課題について考える機会となることを意図している。また、児童生徒等の理解の方法や専門性を高めるためのリソース活用法など、各演習テーマについて、グループ学習や討議・発表といった演習形式で学習し、養護教諭の実践的技能と資質・能力の向上を目指す。						
授業形態	講義・演習				授業方法	ディスカッション・グループワーク・プレゼンテーション	

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．教職課程関連科目について振り返り、各自に残された課題を確認する。 2．養護教諭として求められる資質・能力を具体的な学校場面に位置づけて考えることができる。 3．信頼される学校づくりに資する養護教諭のあり方についての理解を深めることができる。 4．児童生徒等の理解の方法とそれに基づく教育活動についての実践力を高めることができる。 5．保健教育の計画・実施・評価に関する実践力を高めることができる。 6．養護教諭としての自律的な成長に必要なリソースの活用法を身につけることができる。 養護教諭の実践的技能と資質・能力の向上を目指しているので、到達目標がすべてできることを標準とする。
理想的レベル	養護教諭の実践的技能と資質・能力の向上を目指しているので、到達目標がすべてできる段階からさらに新規採用の養護教諭として実務ができるように深めることができることを理想とする。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	40%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	30%	
レポート外の提出物	10%	
その他	20%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	WE44115J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
予習：演習内容を踏まえて履修カルテを再点検する。	4

授業計画	
第 1 回	テーマ：イントロダクション（全員） これまでの教職課程の学習について振り返り、各自の残された課題を確認する。

第 2 回	テーマ：学科オリエンテーション（西丸・杉谷・増本） 学科で行う授業の進め方について解説する。 養護実習を体験して明確になった各自の課題を確認し、課題解決に向け討議を行う。
第 3 回	テーマ：保健教育①性教育（西丸） 学科で行う保健教育について解説する。
第 4 回	テーマ：教師にとっての使命感（杉谷） 教師の使命感について各自の考えを整理し、グループで討議を行うことを通じ、教師の使命感を学ぶ。
第 5 回	テーマ：家庭や地域、関係機関との連携（外部講師・西丸・杉谷・増本） 保護者・地域に対する教師の責任とそれを果たす具体的方策について理解を深める。
第 6 回	テーマ：特別支援学校・特別支援教育における養護教諭の職務・役割（外部講師・西丸・増本） 障害を抱える子どもへの養護教諭の対応や学校での取組について学びを深める。
第 7 回	テーマ：保健教育②性教育（西丸） 性教育の指導計画をグループで立案し、指導内容について討議を行う。
第 8 回	テーマ：保健教育③性教育（西丸） グループ別に立案した指導計画に基づき模擬授業を実施し、実践力向上に向け討議を行う。
第 9 回	テーマ：保健教育　性教育講話（外部講師・西丸・増本） 現職養護教諭の講話と交流を通して、養護教諭の専門性について学びを深める。
第 10 回	テーマ：養護教諭と多職種との連携①（西丸） 養護教諭と多職種との連携について事例を通した演習を行い、討議する。
第 11 回	テーマ：テーマ：養護教諭と多職種との連携②（西丸） 養護教諭と多職種の連携について事例を通した演習を実施し、討議する。
第 12 回	テーマ：養護教諭と多職種との連携③（西丸） 養護教諭と多職種の連携について事例を通した学びを通し、グループで討議する。
第 13 回	テーマ：養護教諭と多職種との連携④（西丸） 養護教諭と多職種の連携について事例を通した学びを通し、グループで発表する。
第 14 回	テーマ：資質・能力の向上に向けた課題の確認（全員） 教師として求められる資質・能力の向上を図るうえで取り組むべき各自の課題について整理
第 15 回	テーマ：まとめ（全員） 第 14 回の演習に基づき、グループ討議を通じて資質能力への具体的な取り組みを明らかにし、発表する。
テキスト	教科書は使用せず、担当教員が適宜、授業においてレジュメ等を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	文部科学省ホームページ 日本学校保健会ホームページ 学校保健ポータルサイト 履修カルテ、養護実習記録、ポートフォリオ、その他、授業中に指示する。

課題に対するフィードバックの方法	レポート内容及び課題提出等については、授業の中で指示する。 その他の評価については、授業への貢献度等で評価する。
学生へのメッセージ・コメント	この演習は、教職課程の最終段階として、これまでの全ての学習や活動の総点検をしながら、実践的技能や能力の向上を目指すものである。養護実習の記録類や履修カルテ作成、ポートフォリオの作成をきちんと行って実習の復習を行っておくことが大切である。。 履修カルテを活用しながら、教職の関連科目や専門科目と教育実習を各自で振り返り、授業に臨んで欲しい。 教員を目指す者には、教員採用試験に向けた準備のために参考になる情報や知識が含まれているので、この授業を大いに活用して欲しい。 授業中の教師の説明や解説、意見交換の内容をこまめに記録して役立てることをお勧めする。